

事務事業名		全国和牛能力共進会補助金		所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課
総合計画体系的	政策名	(V)挑戦し活力を産みだすまち<産業>		所属G	畜産グループ	課長名	杉原律雄
	施策名	(36)農業の振興		担当者名	高橋 司	電話番号	0854-40-1050
	目的:対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。		(内線)	2411
	基本事業名			予算科目	会計 款 大事業 大事業名	畜産事業総務管理事業	
目的:対象			意図			項目 中事業 中事業名	全国和牛能力共進会対策事業補助金

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (22 年度 ~ 29 年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)
全国和牛能力共進会雲南市出品対策協議会への補助金の支払いと候補牛への巡回指導会や候補牛集畜指導会等の開催

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	28年度実績(28年度に行った主な活動)	29年度計画(29年度に計画する主な活動)			
	② 活動指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
ア	① 補助金の支払い	回	1	1	1	1
イ	② 候補牛の生産	回	1	2	5	3
ウ	③ 第11回全国和牛能力共進会に向けた出品対策の検討	回	11	17	55	50
エ	④ 早期肥育技術確立支援事業の取り組み					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)
	和牛飼養農家	ア	戸	121	115	114	114
		イ					
		ウ					
② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(計画)	
和牛の改良、飼養管理技術の向上により奥出雲ブランドを確立する。	ア	頭	3,655	2,879	3,114	3,114	
	イ						
	ウ						

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (28年度決算)	② コストの推移	単位	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(計画)
補助金 4,950千円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円				
	一般財源	千円	1,000	1,300	4,950	6,250
	事業費計(A)	千円	1,000	1,300	4,950	6,250
	人件費	人	2	2	2	
	正規職員従事人数	時間	60	100	240	
	延べ業務時間	千円	233	391	952	
	人件費計(B)	千円	1,233	1,691	5,902	
	トータルコスト(A)+(B)	千円				

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
県の和牛生産能力は遺伝子能力が向上し、一定種雄牛に集中した交配から糸系、気高系、但馬系の三元交配で産出された新規種雄牛の交配を行い、肉質、増体、体型を兼ね備えた子牛の生産がされ改良も進んでいる。しかし、飼養農家数と頭数の減少し、子牛市場への上場頭数の確保が問題視されている。	協議会、委員会で課題等を踏まえて検討を行っている。前回の大会終了後から成績向上のための県の事業に賛同し実証事業に取り組んだり、年度計画を立てて候補牛の生産・取得を行い地域保留に努めた。	飼養農家にとって、全国和牛能力共進会は将来の雲南市和牛を担う基礎牛の評価を高める場であり、畜産農家及び市議会等の市及びJAの取組並びに出品・入賞への期待は非常に大きい。

事務事業名	全国和牛能力共進会補助金	所属部	農林振興部	所属課	林業畜産課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？ 税金を投入して達成する目的か？			
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？ 意図を限定・拡充する必要はないか？			
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒		
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？			
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	全ての和牛飼養農家の中から選ばれた出品候補牛の飼養農家への支援であり、関係者による適切な指導も受けているので、向上の余地はない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない			
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	全共出品は奥出雲和牛ブランドの向上に繋がるものであり、廃止されれば出品は不可能となり、子牛価格の下落に繋がり、畜産農家の所得等に多大な悪影響を及ぼす。
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有			
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)		県で必要な予算を講じて対応する。
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	類似事業がない。		
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	必要最小限の補助であり減額は出来ない。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由	
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	鳥根県出品対策協議会及びJAとの連携により事務を進めており、市独自で業務間を削減することは困難である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない			
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	全ての和牛飼養農家の中から選ばれた出品候補牛飼養農家への支援であり公平・公正である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である			
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり
飼養農家にとって、全国和牛能力共進会は将来の雲南市和牛を担う基礎牛の評価を高める場であり、畜産農家等の市及びJAの取組並びに出品・入賞への期待は非常に大きく、奥出雲和牛の価値を高めるため積極的に取組む必要がある。			飼養農家にとって、全国和牛能力共進会は将来の雲南市和牛を担う基礎牛の評価を高める場であり、畜産農家等の市及びJAの取組並びに出品・入賞への期待は非常に大きく、奥出雲和牛の価値を高めるため積極的に取組む必要がある。 一方、出品対策は鳥根県が取り組んでいるため、県で必要な予算の確保を求める必要がある。	

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	② 改革・改善による期待成果																							
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
<p>飼養農家にとって、全国和牛能力共進会は将来の雲南市和牛を担う基礎牛の評価を高める場であり、畜産農家等の市及びJAの取組並びに出品・入賞への期待は非常に大きく、奥出雲和牛の価値を高めるため積極的に取組む必要がある。</p>																								
<p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>																								